

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は皆様より格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

ニッポンハムグループを取り巻く環境は、目まぐるしく変化を続けています。国内では、長引く物価の高騰により消費マインドが冷え込み、消費者の購買行動やライフスタイルにも大きな影響を及ぼしています。海外では、異常気象の頻発や地政学的な紛争の拡大のほか、世界的な人口増加による食料調達の難しさや、安定供給へのリスクも高まっています。

そのような環境の中で、ニッポンハムグループは食のインフラ企業として継続的な成長を実現するため、中期経営計画2026を策定し、三位一体の全社戦略「構造改革」「成長戦略」「風土改革」に取り組んでまいりました。

今後は既存事業の進化と併せて、新規事業の創出や、社外との共創などを積極的に進め、より一層「成長戦略」を加速させます。また、事業基盤の再構築による「構造改革」にも取り組み、これら「成長戦略」と「構造改革」を両輪で回すことでの「新たな成長ステージ」への到達を目指し、企業価値を高めていきます。

また、それらの価値を生み出す基盤づくりとして、働きがいがあり、誰もが挑戦できる職場を目指した「風土改革」に取り組みます。

さらに、畜産を手掛ける企業として、日本の畜産業の持続可能な発展に積極的に取り組むと共に、環境関連の活動においても商品のプラスチック包材

削減や、工場での太陽光発電・燃料転換などを導入し、CO₂排出量の削減を推進していきます。

昨年、北海道日本ハムファイターズはリーグ2位という成績を残し、北海道ボーラーパークFビレッジには全国各地や海外より、多くの皆様にご来場いただきました。改めて御礼を申し上げます。2028年には新駅の開業も控えており、エスコンフィールドHOKKAIDOを中心としたエンターテインメント事業のさらなる飛躍と、地域社会との新たな街づくりによる共同創造空間を目指してまいります。

わたしたちを取り巻く環境は、絶えず変化し続けます。ニッポンハムグループは外部環境の変化に左右されない持続的で強固な事業体制を確立し、「新たな成長ステージ」に進むことで、今後も社会的使命を果たしてまいります。結びとして、本年が皆様にとって明るい一年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和八年 元旦



日本ハム株式会社
代表取締役社長

井川 伸久

